

4 年次保健体育（MYP 5 Physical & health education）【体育：2 単位】【保健：1 単位】

教科のねらい

MYP の「保健体育」のねらいは、生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・ 探究的手法を使って、保健体育の概念について探究すること
- ・ 様々な状況に効果的に参加すること
- ・ 身体活動（運動）の価値を理解すること
- ・ 健康的なライフスタイル（生活）を実現し、維持すること
- ・ 効果的に他者と協働し、コミュニケーションを図ること
- ・ 他者と建設的・肯定的な人間関係を構築し、社会的責任を行動で示すこと
- ・ 自身の学習経験を振り返ること

目標および評価基準

評価基準	目標
A：知識と理解	i. 「保健体育」に関する、事実に、手続き的、概念的知識を説明すること
	ii. なじみのある、あるいはなじみのない状況において設定された問題を分析し、解決するために、「保健体育」に関する知識を応用すること
	iii. 「保健体育」の専門用語を効果的に使用し、理解していることを示す
B：パフォーマンスの計画	i. パフォーマンスの改善に向け目標を作成すること
	ii. 身体能力と健康を改善するための計画を設計、説明し、その根拠を示すこと
C：応用と実践	i. 幅広いスキルや技術を効果的に示し、応用すること
	ii. 幅広い戦略や動きの概念を効果的に示し、応用すること
	iii. 効果的なパフォーマンスに必要な情報を分析し、応用すること
D：パフォーマンスの振り返りと改善	i. 対人スキルを高めるための戦略を説明し、示すこと
	ii. 計画の有効性を、その成果に基づき分析し、評価すること
	iii. パフォーマンスを分析し、評価すること

※「ねらい」・「目標」は IBO「Physical and health education guide」より。

「目標と評価規準」は MYP 保健体育 5 を使用しています。

関連概念（保健体育の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	バランス	選択	エネルギー
環境	機能	交流・相互作用	動作
視点・観点	改良	スペース	システム

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題の MYP 評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	学習指導要領観点との対応
前期 （4 月～9 月）	1	1. Change（変化） 2. Identities and relationships（アイデンティティと関わり合い） 3. コミュニケーションスキル・協働スキル・創造的思考スキル	A 体づくり運動 （ア）体ほぐしの運動 （イ）体力を高める運動 アスレチックコースづくり H. 体育理論にかかわること	評価規準 B：体力要素の理解をもとに、ねらいに応じたアスレチックの作成計画を立てる。 評価規準 D：作成したアスレチックがねらいに応じた物であったか振り返る。 【B】【D】	②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-D A-3

	2	1. Communication(伝達) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関わり合い) 3. 振り返りスキル・批判的思考スキル	E. 球技 (ア.ハンドボールⅡ) H. 体育理論にかかわること	評価規準 B 幅広く技術や技能を効果的に応用する (実際に示す) 計画を立てる。 評価規準 D (個人) 互いの活動を評価し、学習の振り返りをレポートにまとめる。 【B】 【D】	①思考・判断・表現-B ②思考・判断・表現-D 2. C-12
	3	1. Communication(伝達) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. コミュニケーションスキル・情動スキル・振り返りスキル	集団演技 B 器械運動 (ア) マット運動 G ダンス (ウ) 現代的なリズムのダンス H. 体育理論にかかわること	評価規準 B : チームや個人の力を認識し、集団としての構成を計画的にプログラムする。 評価規準 C グループにおける技の構成と個人の技能を評価する。 【B】 【C】	①知識・技能-C ②思考・判断・表現-B C-15
後期(10月~3月)	4	1. Change (変化) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関わり合い) 3. 協働スキル・振り返りスキル	E 球技 (イ) バレーボールⅡ H. 体育理論にかかわること	評価規準 A : バレーボールの技術、行い方の理解を示す課題をレポートにまとめる。 評価規準 C : 学びで得た知識がわかるパフォーマンスを、動画をもとに示す。 【A】 【C】	①知識・技能-A・C B-9
	Unit外	1. Relationships(関係) 2. 関係 (Relationships) 3. コミュニケーションスキル、協働スキル、振り返りスキル	E 球技 (ア) バスケットボールⅡ H. 体育理論にかかわること		
通年		1. Communication(伝達) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. 批判的思考スキル	H. 体育理論 (1) スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴	現代生活においてスポーツの文化的意義が高まってきたことを理解する。 スポーツを通じた人のつながりや国際的な大会が及ぼす文化的な意義や効果を交流する。	
通年	6	1. Communication(伝達) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. 情報リテラシースキル・メディアリテラシー・批判的思考スキル・転移スキル	H. 保健 (1) 現代社会と健康 (2) 安全な社会生活 (4) 健康を支える環境づくり	評価規準 A 人間の健康が主体と環境との関わりであることを学び、その要因に対する適切な対策を知りレポートにまとめる。また、日常生活で起こる障害や疾病に対する対応について実習を通して理解して、応急手当や心肺蘇生法ができるようにする。 評価規準 B 自他や社会の課題を発見し、その解決に向けた取り組みを計画する。 評価規準 C : 応急手当で心肺蘇生の流れを実践し、動画におさめる。 評価規準 D 得た知識をどのように実生活に応用するかレポートに記述する。【A】 【B】 【C】 【D】	①知識・技能-A・C ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-D B-12